

むさしの自作ビオトープメカニズム(ときどき更新)

ビオトープに完成はありません。毎年植物は育ち、様々な生物が加わり、春夏秋冬、様々な姿に変わっていきます。中には、大量発生したり、いなくなってしまう生き物もいると思います。しかしながら、どうしたら生態系のバランスを維持できるか、何かを加えたり、環境に変化を与えたり、隠れ場所を作ったり、常に観察し、研究し、工夫をしながら育てていくことが目的となります。

子どもから大人までが参加する、ビオトープ研究チームとかも、作ってみたいです。(NPO 法人準備中！)



【生息するもの】

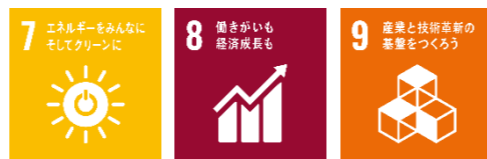
各種鳥類、動物(タヌキ?アライグマ?ハクビシン?)、アオモンイトトンボ、ギンヤンマ、トンボ、…
 カワニナ、ヤゴ、カエル、クサガメ、スジエビ…
 オイカワ、カワムツ、モツゴ(クチボソ)、タモロコ、ホンモロコ、キンブナ、ギンブナ、ドジョウ、メダカ、ニゴイ、スジエビ、ナマズ、ヨシノボリ、カマツカ、…
 ブナ、モミジ、ウメ、ザクロ、クワ、マキ、ロウバイ、ヒメリンゴ、カボス、レモン、…
 ユキノシタ、ミョウガ、ヤブミョウガ、エゾミソハギ、チグサ、タケニグサ、オランダハッカ、ギボウシ各種、ゼニバアオイ、ツワブキ、シャガ、タイワンホトトギス、セリ、クレソン、フトイ、ミソソバ、ハルタデ、…
 花各種(鉢植えのホスピス)、

【上の池:水深 1.2m】
スイレン、ハス、ジュンサイ、ショウブ、

【水田】
イネ(モチ米)、

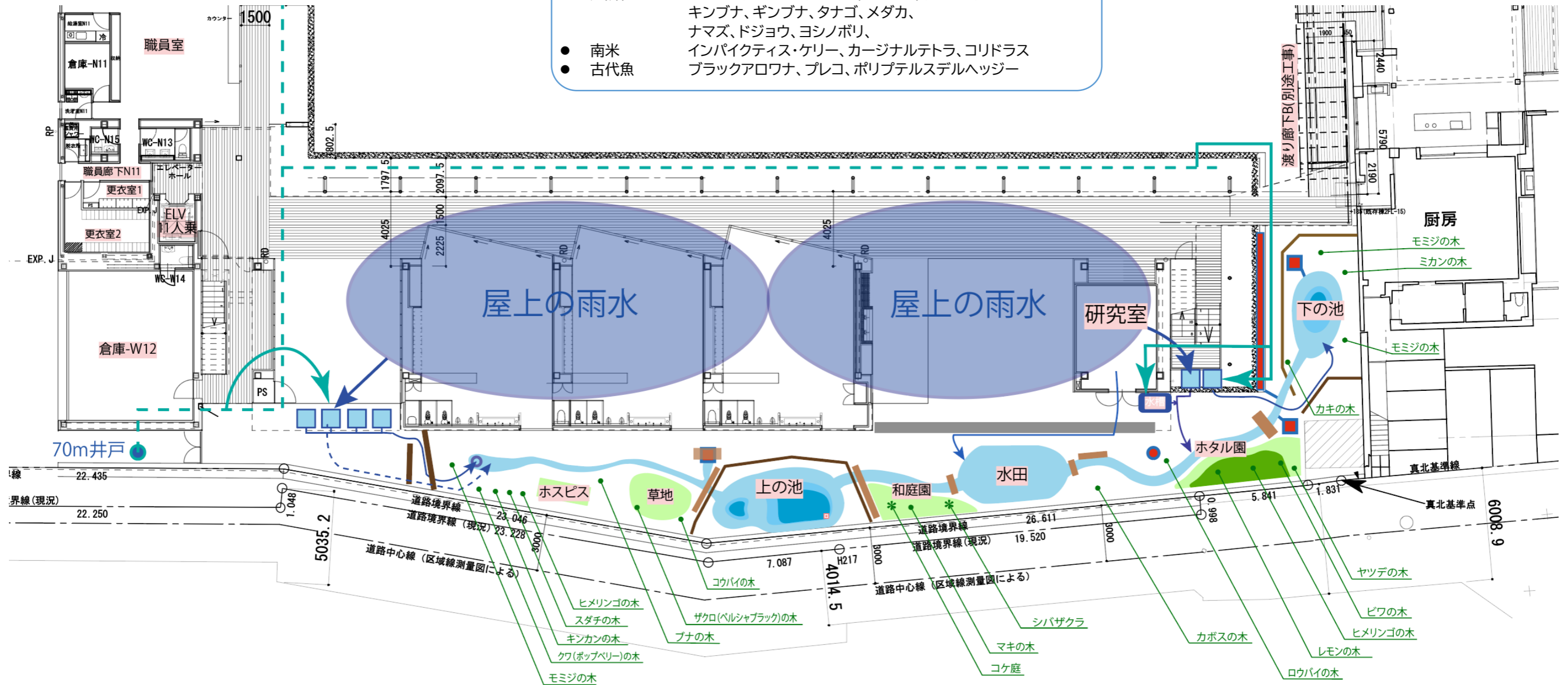
【下の池:水深 0.7m】
スイレン、

- 大雨時、排水①の許容を越えた場合、排水②③④が機能。学園全体に埋められた浸透ピット(総延長80m) & および浸透井戸(深さ6m x 4カ所)へ。→そして海へ。
- D・E・Fの各区域は、堰①②③により、それぞれ区域ごとに水面高の調節が可能。
- 春夏秋冬、天候、一年を通して多様に変わり巻き起こる現象を目にし、学び、考え、工夫し、試す、といった一連の行為を実験、学び、トライとして位置付けていく。



【生物研究室】

- 近隣種 オイカワ、カワムツ、モツゴ(クチボソ)、モロコ、キンブナ、ギンブナ、タナゴ、メダカ、ナマズ、ドジョウ、ヨシノボリ、
- 南米 インパイクティス・ケリー、カージナルテトラ、コリドラス
- 古代魚 ブラックアロワナ、プレコ、ポリプテルスデルヘッジー



【ご寄付を頂いた皆様】

中華料理一翠さま(ホタル付近の敷石、約10個) / 増田コーポレーションさま(大きな景石、約20個) / 池谷政則さま(山野草) / 細田昭男さま(水槽)

【作業のお手伝いを頂いた皆様】

武蔵村山の内野造園さま(大きな石の搬入、大きな木の植栽、枕木の設置、大きな掘削など) / 増田コーポレーションさま(大きな石の運搬) / 居島工務店さま(上の池の柵)。

その他、フェンス設置、コンクリート敷設、防水シート張り、川や池の造成、雨水タンクの設置、自動給水システム、などなど、自作で行っています。

できる限り自然循環を目指した「園ビオトープ造成」のお手伝いを行うコンサルも可能です。
園の日常、子どもの特性を知っているからこそその強み。ご相談もお受けいたします。
HM-GROUP



